

ほたるの里だより



八千代市ほたるの里づくり実行委員会

第14号 2006年7月

「八千代の自然」作品展

八千代の自然をテーマに、ほたるの里づくり実行委員会・八千代市環境保全課の共催で作品展を行いました。作品展は、写真18点・絵画17点の応募を頂き、5月20日（市民会館）・5月24日～31日（イオン八千代緑が丘店）で展示をしました。また、イオン八千代緑が丘店での展示の様子が朝日新聞で記事にもなり、多くの方々が会場を見に来られました。皆様のご協力、誠にありがとうございました。

来場者による100通を超える人気投票において、写真・絵画各部門2点ずつを表彰いたしました。

* 写真の部 *



★最多賞★

「初夏の畑にて」

石上 文枝

☆人気賞☆

「田植えを終えて」(2)

川瀬 純一



* 絵画の部 *



★最多賞★

「みどりと川」

山川 大貴

☆人気賞☆

「春の新川」

陰山 耕太郎



里山シンポジウム報告

去る5月20日、第3回 里山フェスティバル「里山シンポジウム」の全体会・分科会が八千代市市民会館で行われました。

午前には、各分野に分かれ、①「ビオトープとしての里山保全」②「里山と不法投棄・残土問題」③「市民農園を核とした都市農業の保全と展開」の3つの分科会が開かれ、事例発表のあと、さまざまな意見が交わされました。

午後の全大会では、今年は「里山とゴミ」をテーマに、かつては里山に返すべき資源であったゴミが現在では、日本で最も多く千葉に投棄され、ゴミ・産廃が、里山の自然を侵し、私たちの生活・生命そのものを脅かす存在になっている問題について、徳島県勝浦郡

上勝町役場・星場真人参事の「里山を活かす上勝町の戦略―“彩産業”とゴミ作戦―」と題した基調講演、八千代市環境保全課による八千代市の里山活動報告、阿蘇中学校の生徒さんたちによる学校行事、クリーン作戦活動報告が行われました。

次に、各地で行われた分科会の発表報告、最後に千葉県の大槻幸一郎副知事らをお迎えし、「里山とゴミ」をテーマに、里山の今後のあるべき方向性や不法投棄・残土問題についての意見交換が行われました。また、パネリストや会場の方からの千葉県・大槻副知事への質疑応答もあり、とても内容の濃いディスカッションでした。



私たちはほたるの里を応援しています！



ガールスカウト千葉県第57団
NPO 法人 八千代オイコス

街づくり市民の会
米本団地自治会

八千代ホタルフォーラム
共栄物流株式会社



ホタルサミット in いすみ ～ホタルもヒトもかがやく街に～

加藤 賢三

2002年の「ホタルサミット in 八千代」から4年、再びホタルサミットがいすみ市の夷隅文化会館において、6月3日（土）、4日（日）に開催されました。

第一日目の6月3日（土）は、ホタルサミット実行委員会の大会会長の大藪 健氏の挨拶に始まり、来賓として、堂本暁子千葉県知事と太田 洋いすみ市長の挨拶がありました。とくに、堂本知事の生物多様性について、そして、仕事としてここに来ているというよりも、楽しみとしてきました、というお話が印象に残りました。続いて、ホタル研究の第一人者の大場信義氏（大場蛍研究所・前横須賀市自然・人文博物館）の「いすみ市のホタル・世界のホタル」という表題での記念講演がありました。この話の中でも、世界のホタルの研究者が千葉県のいすみは、遺伝子型もきちんと調べられている、関東随一のホタルの見られる場所というお話でした。

休憩のあと、基調報告が三題ありました。初めは、千葉県立中央博物館の倉西良一（上席研究員）氏の「房総半島のヒメボタル―再発見の経緯とその後の展開」でした。千葉県のヒメボタルの生息場所の内浦山県民の森では今年も、6月24日と7月1日に観察会が予定されています。次に、「ちばほたるマップ2004」の作成と題して、加藤が八千代市ほたるの里実行委員会が作成した上記ホタルマップの作成経緯を発表しました。その内容は、平成14年10月に八千代市ほたるの里づくり実行委員会が中心となり、千葉県初のホタルサミットが開催されました。そのとき、「ホタルをはじめとした、多くの生き物は、地域固有の進化を遂げており、地域特性をもっている」ことが話題になりました。そこで、千葉県の各地域のホタルの生息状況や活動団体を調べることで、持続可能な地域のホタルの保全のはじめの一歩と考え、「ちばほたるマップ2004」が作成されました。最後は、「坂月川のホタルと私」と題しての発表がありました。魅力あふれる坂月川を目指し活動中という山口梅子氏の話には素朴な感動がありました。

この基調講演が終わって、交流会があり、午後7時にホタル観察会に出かけましたが、少し気温が低かったので心配しましたが、いくつかの水路で幻想的なホタルの飛翔がみられました。参加者の中には、堂本知事、ミジンコの研究者でサクソ奏者の坂田朗氏も含まれていました。

二日目の分科会は、第一分科会（研究）ホタルの分布・生態・生活史・生理に関する発表、第二分科会（保護）ホタルの生息環境の保全及び自然保護活動全般に関する発表、第三分科会（共存）野生生物と人の共存、自然と産業、循環型社会形成に関する発表でした。

第一分科会では、八千代市からの発表は八千代オikosの小原 翔氏による10年間以上に渡って調べられた八千代の自生のホタルの生息状況について発表があり、また、八千代市ほたるの里実行委員会からは、環境保全課の上氏から里づくりの活動紹介が行われました。

思えば、八千代市ほたるの里づくり実行委員会です。最初に行ったホタルサミットが以上のように素晴らしい展開をしたこと、そして「ちばほたるマップ2004」の作成が、千葉県各地の固有のホタルの保全に貢献するのではという希望がわいてきたことを実感した、素晴らしいホタルサミットでした。このサミット支えた事務局のご努力と参加者に乾杯です。



堂本千葉県知事からのあいさつ

里のみどころ (7~9月のころ)

青い空 真っ白な雲 新川に広がる緑一面の田んぼ

トンボ池のスイレンの花 夏です!!

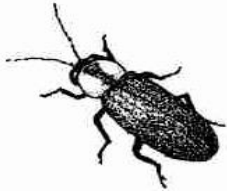
暑い日差しをあびて、花の周りでは、ウラナミシジミ トラマルハナバチ

草むらでは、ショウリョウバッタ トノサマバッタが飛び回っています。

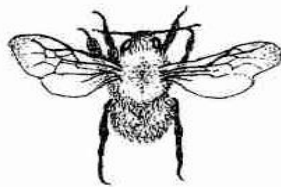
水の中では、ニホンアカガエルの子ども、メダカの赤ちゃんがスイスイ泳いでいます。

やがて日が落ち暗くなりかけた頃

ぴかっ ぴかっ ヘイケボタルのやさしい光が、辺りをつつみ始めます。 (くわはた)



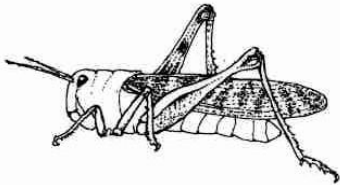
ヘイケボタル (体長 7~10mm)



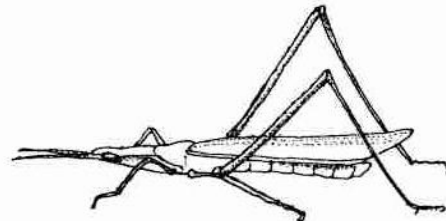
トラマルハナバチ (体長 11~25mm)



ウラナミシジミ (開張 28~34mm)



トノサマバッタ (体長 35~50mm)



ショウリョウバッタ (体長 45~75mm)

(もり)

各地からのホタルだより

四街道のホタル事情

四街道自然同好会会員 林 孝 (四街道市)

私の住んでいる四街道には豊かな自然にまもられる市民の会「四街道自然同好会」があり、現在でも会員数は400世帯を超えている。毎月発行している会誌「自然」はこの7月で209号を迎える。

会の主な活動は「豊かな自然を未来の子どもたちに！」をテーマに、森の観察会、小・中学校への自然観察会支援、視察、発表会、ホタルの棲息調査など、多岐にわたっている。その中でも「ホタルの棲息調査」は10年以上も前から毎年実施されてきた。

平成16年の夏に調査した時は市内を8箇所の地区に分け、3人から5人の調査員で同じ地域を数回計測して最も多かった日の統計を取るようにした。

平成6年と11年を同じ地図上に記入して比べたり、平成15年と16年を比較して見たりすると棲息状況の変化が読み取れる。G地区は一年前と比べて激増していた。この地区はかなり以前から里山が崩され工事をしてきたが、工事が中断され数年の経過のうちに自然が回復してきたと推測された。

A地区は棲息数が減り続け絶滅の恐れがあった。谷津の田んぼのほとんどが休耕田になり、除草も行われなくなり、谷津の乾燥が進んでホタルの棲息に適さなくなった結果ではないかと思う。

地区によっては、前年市内最大規模の発生地であったところに出かけてみたら、全く出ていない。3キロ歩いて3~4匹であった時もあるようだ。

ホタルの生態は未だによくわからない。ホタルの棲息調査を体験して「ホタルの住める環境づくりが大切なのではないか」と感じました。



並木川の上流

7・8・9月のスケジュール

🌙 ナイトウォッチング

ほたるの里の夜の観察会を行います。

日時：7月1日（土）

申し込み：当日、直接ふるさとステーションへ

（午後6時30分より受付を開始します。）

注意：当日は懐中電灯を持参の上、動きやすい服装で。

6月下旬からヘイケボタルが飛翔する予定です。

いつでも見学は自由ですが、ホタルは取らないで下さい。

✂️ 里の環境整備 ✂️

ほたるの里でザリガニ釣りや草刈を行います。

日時：7月29日（土）・8月19日（土）

午前9時から11時ごろ

9月30日（土）

午前10時から12時ごろ

集合場所：ほたるの里

注意：夏場は帽子や飲み物など、

各自で暑さ対策をして下さい。

🪱 ザリガニ釣り大会 🪱

ほたるの里でザリガニの一斉除去を行います。

日時：9月30日（土）

午前10時から12時ごろ

集合場所：ほたるの里

持ち物：釣竿、エサ、バケツなど

注意：帽子や飲み物など、

各自で暑さ対策をして下さい。

ホタルメイトになりませんか？

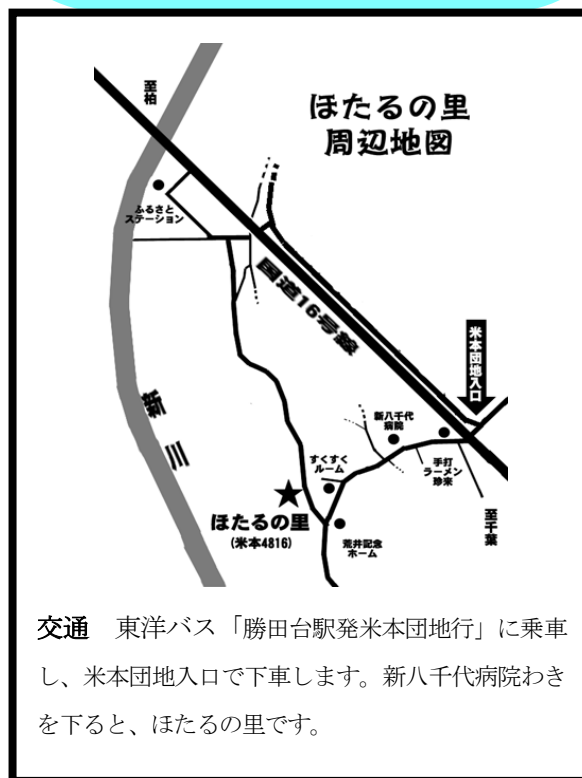
年会費	個人	500円
	市民団体	2,000円
	事業所	2,000円

ホタルメイトで会費未納の方は、イベントやほたるの里整備のたびに受け付けておりますので、ご利用ください。

📎 第9回総会報告

今年で9回目を迎えたほたるの里づくり実行委員会の総会が4月8日に行われました。31名の参加者のもと、昨年度の事業報告と今年度の事業計画についての話し合いが進められました。今までの事業に加え、今年度は新たな事業として、「八千代の自然」作品展やホタルサミット in いすみへの参画等を計画しております。総会資料がほしい方は事務局にご連絡下さい。

- ① 池や小川の中に入らないこと
- ② 草や虫をいじめないこと
- ③ ゴミをすてないこと
- ④ コイ、ブラックバスなどをいれないこと



交通 東洋バス「勝田台駅発米本団地行」に乗り、米本団地入口で下車します。新八千代病院わきを下ると、ほたるの里です。

[ほたるの里の連絡先]

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局 八千代市役所環境保全課

Tel 047-483-1151 Fax 047-484-8824 E-mail kankyout2@city.yachiyo.chiba.jp

[編集]

広報部会 事務局